

いりさん知事賞

山端月穂さん教育長賞

山端月穂さん(1年、対島中出)は、2位相当の最優秀賞を受賞し、輝いた。



国土緑化や育樹がテーマのコンクールで優秀な成績を収めた小野さん(左)と田端さん=伊東高城ヶ崎分校

青少年の緑化意識高揚などを目的に毎年開かれるコンクールに、今回は県内の小中高70校から226点が寄せられた。高校の部は8校33点だった。

小野さんは、女性が森の中で小さな芽を優しく見つめる場面を描いた。「薄塗りどころまで質感を出せるか」と、初めて本格的な水彩画に挑戦した。2週間ほどかけて描いた力作で「(県知事賞を)狙っていたのでうれし」と話した。

田端さんは、はつきりとした色合いが特徴のポスターカラーで森の美しさを表現。降り注ぐ日の光り具合に

野外調理

い機会だと思って参加した。もつと子どもが参加するとい」と話した。高野七長ま「こ

1129.3.6(月)伊新聞8頁

だわったという。「入賞して驚いた」と初受賞を喜んだ。

2人の作品を含めた全国コンクールに推薦、応募される。同校選、勝間美登さん(2年、同)と粕谷美月さん(1年、南中出)は入賞は佳作に入った。



新築さん(右)の話に耳を傾ける出席者たち=伊東市観光会館

「生の情報、継続発信」

3市の善意通訳合同研修

世界的視野伝える

伊東市善意通訳の会、熱海市の熱海ガイダンス、下田市の伊豆クラブ、

豆善意通訳の会は4日、伊東市観光会館で合同研修会を開いた。3団体の会員ら80人が出席し、日本映像翻訳アカデミーグループ代表の新築直樹さんの「伊豆の魅力の世界へ」をテーマにした講話を聴いた。

東京を米国ロサンゼルスを拠点に動画の字幕作成、吹き替え、通訳などの事業を展開している新築さんは、世界にに向けた情報発信のポイントを語った。「今すぐ、生きた情報を継続的に発信することが大切」と述べ、効果的なメッセージや動画の作り方を紹介した。「外国人の目線で地域の魅力を再発見してほしい」と呼び掛けた。

出席者は今後の活動に役立てようと、新築さんの話に熱心に耳を傾けた。伊東市善意通訳の会の稲葉尚子会長は冒頭のあいさつで「海外の旅行者に伊豆の花まつり稚児行列に参加を」と話した。

クロマツの苗30本植栽

城ヶ崎の自然を守る会 富戸小6年生と作業

伊東市の「城ヶ崎海岸の松と自然環境を守る会」(石井勝守会長)は3日、門脇つり橋近くの城ヶ崎海岸に市立富戸小の6年生22人と共にクロマツの苗木30本を植えた。

苗木は高さ50センチ、根元幅10センチの苗を植えた。

同会は2006年から「ほんの専門店」(会社印・実印・ゴム印・表札)を運営している。



る児童たち=城ヶ崎海岸

に由来もろうためにはSNS(会員制交流サイト)の活用が欠かせない。一人一人が伊豆の魅力をもとに発信すれば効果的なのかをしっかりと学びたい」と話した。

花まつり稚児行列に参加を 宇佐美仏教会

伊東市の宇佐美仏教会(会長=浜崎道昭・円心寺住職)は4月2日、宇佐美の朝香寺で釈迦(しゃか)の誕生日(4月8日)を祝う「花まつり」を開く。

稚児行列や法要に参加する子どもを募集している。

対象は小学校低学年くらいまで。午前8時半に集合し、説明会の後で着替える。10時15分ごろ集合写真撮影して出発、周辺約1キロを行列する。法要は11時から行う。

参加費は3千円(貸衣装、記念帳など)。申し込み締め切りは23日、同仏教会の各寺院で受け付けている。